

新設備導入でプレス加工の競争力を高める

課題

海外とのコスト競争に負けない経営改革

昭和36年の創業以来、金属小物部品のプレス加工および金型設計製作を手がける熊谷精機株式会社。

数年前には、リーマンショックの影響とその後円高、仕事の海外移管、東日本大震災の影響などを受け、累積赤字を計上、債務超過に陥った。それでも、顧客を絞り込み、シェアの拡大と新規顧客開拓を中心とした営業活動を行いながら、同時に社内の改善活動や技術教育などの取り組みを行うことで、債務超過を解消。しかし、それでも従来のプレス加工要素としての「抜き、曲げ、絞り」で海外企業とコスト競争を続けていくのは困難だった。

生産性向上と業務改善のためには、課題が山積だった。高付加価値部品の受注を拡大させて限界利益率を改善することや、生産システム全体の「見える化」推進によるムダの排除、生産設備増設による生産能力向上、特定業種への依存度を下げることでのリスク分散、AI・ロボットの活用で自動化と合理化促進、「働き方改革」の実現に向けた社内規定の整備など、対応すべき項目はいくつも挙げられた。

そこで、こうした課題の整理と解決に向け、経営者は、豊丘村商工会に相談を行った。

それまで商工会と社内のつきあいは、金融関係や人材教育の支援が中心だった。しかし、経営者から経営力向上計画の認定を目指したいという相談を受けたことを機に、経営計画づくりを支援。また、火急の顧客ニーズとしての「3D化対応」において、3D-CAD/CAMシステムの導入を計画。導入に向けて、ものづくり補助金の申請支援を行った。

支援

県連との連携支援で効果的な支援を実施

当初は、プレス機械の導入について経営力向上計画書の作成を支援したが、経営者と話を進めるなかで中長期を見据えた事業構想を聞くことができたので、経営革新計画の策定を提案し、支援を行った。

この経営革新計画の作成中に、ものづくり補助金の公募が開始され、経営革新計画の承認を受けた取り組みは補助率が2/3に引き上げられることを知ったため、急遽、経営革新計画の承認とものづくり補助金の採択を同時に目指すことに



同社の工場

なった。平成30年2月に経営革新計画の承認を受け、その計画を元にものづくり補助金の申請を支援。こちらも無事に採択となった。

今回の一連の経営計画の作成支援では、長野県商工会連合会と一緒に行ったことで、より効果的な支援につながった。今後も同社は、生産性の向上と企業の成長が期待できる。商工会では、これからも関係支援機関と連携を図りながらサポートを継続していく。

支援の経過

期間	支援内容
H29年7月	経営力向上計画の申請支援
H30年2月	経営革新計画の申請支援
4月	ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：熊谷精機株式会社
 住所：長野県下伊那郡豊丘村神稲9115-1
 電話番号：0265-34-3440
 URL：http://www.kumagai-seiki.net
 代表者名：代表取締役 熊谷茂
 創業年月：昭和36年
 年間売上高：4億3000万円(平成30年)
 従業員数：25名
 商工会名・担当者名：豊丘村商工会・玉本圭一